

## 一般質問

議席9番 内海 和子 議員



- 経費削減案について  
Q. 先ごろ西南医療センターでJISBメモリーが紛失した。何か申し入れはしているか。  
A. 事故報告書を提出させて再発防止に努めるよう要請をした。
- 河川敷の整備について  
Q. 10月の台風や大雨で河川敷の遊歩道に砂が堆積している。除去予定はあるのか。  
A. 過日除去した。

「民生部長」

- 医療関係について  
Q. 先ごろ西南医療センターでJISBメモリーが紛失した。何か申し入れはしているか。  
A. 事故報告書を提出させて再発防止に努めるよう要請をした。
- 安全な電力について  
Q. 安全な電力ということで、PPS（小口電力新規参入業者）方式を採用している官公庁や民間企業が増えている。境町へは売り込みなど来ていているか。  
A. 売り込みなどの協議はされてないが、小さい自治体での情報がない。今後、調査研究していきたい。

「総務部長」

- 防災対策について  
Q. 庁舎玄関口のガラススペースに植物などを植えて、夏の電力削減としてはどうか。  
A. 現場の状況を検証し、庁舎全体における節電対策の一環として、十分に協議検討していく。

「総務部長」

- 女性登用について  
Q. 各種委員会等では女性委員が少ない。24年度までに30%を掲げていたが進まなかつたのはなぜか。  
A. 現在境町での登用率は13.5%。女性委員の不在のところを重点目標に、方針決定の場への女性登用を推進していく。
- 女性登用について  
Q. 特に民生委員等は女性のほうが話しやすいと聞く。増やす方法を考えるといふのがいかがか。  
A. 民生委員は知事の推薦で、厚生労働大臣の委嘱。現在は47名で、うち11名が女性。行政区長に推薦してもらっているが、女性登用の周知が十分でなかつたと考へて、今後検討する。他の課題もあるので、今後検討する。
- Q. 導入後かなり経過した車両もあり老朽化も心配されるが、消防自動車の買い替えの予定はないか。

「総務部長」

- 医療機器の整備など、学校の防災機能を高めていかないと「いざ」という場合に対応ができないと感じたが、当町の考えは。  
A. 文部科学省は、今回の震災を受け、学校整備については「避難所としての必要な諸機能を備えておくべきである」との提言があり、国の財政支援を注視しながら検討していく。  
○防災対策について  
Q. 町民の生命・財産を災害から守ることもまさに安心・安全なまちづくり施策のひとつと思う。東日本大震災を契機として住民の防災への関心・意識も高まつたと思つが、自然災害を想定して、全町的に避難訓練を実施する予定はないか。  
A. 当町においては、役場で防災の日に火災を想定した初期消火及び非難誘導訓練を実施している。行政区に近接する場合は、地域住民が主体となることから、事前に避難所運営を模擬体験して、いざという時の迅速な対応を学んでいくものである。こういった様な住民への取り組みがこれまで必要であると感じているが、当町の考えは。

- 防災対策について  
Q. 住民への取り組みについて、各自で防災計画の見直しが進む中、避難場所運営の体験型訓練HUGが注目されている。これは、避難所の運営は、地域住民が主体となることから、事前に避難所運営を模擬体験することで、いざという時の迅速な対応を学んでいくものである。こういった様な住民への取り組みがこれまで必要であると感じているが、当町の考えは。
- A. 防災意識の高揚を図るために、ゲーム感覚で防災意識を高めるシミュレーションなどをホームページで掲載するなど検討していきたい。

「総務部長」

- 防災対策について  
Q. 東日本大震災をきっかけに、災害情報の確保が重要なテーマになつてゐる。役所が甚大な被害を受けた際に、HPの更新用サーバーも使用不能になる可能性もあり、そうした非常時に住民への情報発信手段が断たれることを防ぐ有効な手段として、注目されているのが、災害時に遠隔地の自治体にホームページを代理掲載してもらう仕組みである。大規模災害時では、むしろ離れた自治体の方が頼りに可能性が高く、定期的に人が行き来して交流を深めている自治体と災害時の協定を整えていくことが重要であることは、今回の震災で得た教訓の一つでもある。当町の考えは。
- A. 境町において姉妹都市を提携している市町村はないが、これに代わるものなど、先進事例等を十分調査しながら検討していきたい。
- 国民健康保険の今後のあり方にについて  
Q. 医療費をどう抑制するかといふことは、どこの自治体においても重要な課題であると思うが、ジェネリック希望カードなど作成して取り組んでいるところもあるが、境町においても保険税を抑えるための取り組みは。
- A. 病気の早期発見・早期治療を目指して人間ドックの助成や特定検診を推進し、健康づくりの推進、健康維持を図つていただきたい。

- 防災対策について  
Q. 学校施設の防災機能の向上について、学校の耐震化の問題、備蓄倉庫建設され、観客席付きスタジアムとしては、県西地区または、県内においても数少ない施設のひとつである。しかし、そのサッカーフィールド芝生が根付かず土のグラウンドとなってしまつたことで近隣の市町村には、芝生のグラウンドがあるが、町には一箇所もない。そのため利用者の怪我も絶えない。リフォーム等の考えは、等の募集の考えは。
- A. 以前は、芝生のサッカーフィールドが補修をすると養生期間が必要であり、頻繁に使用したいため利用者より芝生の撤去の要望を受けた。また、今回の震災により、国・県より学校を避難所としての設備を整えるよう指導があった。当町の学校施設は、まだ耐震工事が済んでいない学校があり、国の補助金制度が平成27年度までである。補助金の残りは借金で補うことになるが、このような財政状況を踏まえ、サッカーフィールドの整備も進めたいが学校関係施設の耐震化が最優先であると考えている。
- 防災対策について  
Q. スポーツ施設について  
Q. サッカーフィールドのネーミングライツの募集について  
A. 文部科学省は、今回の震災を受け、学校整備については「避難所としての必要な諸機能を備えておくべきである」との提言があり、国の財政支援を注視しながら検討していく。  
当町のサッカーフィールドは、昭和62年に建設され、観客席付きスタジアムとしては、県西地区または、県内においても数少ない施設のひとつである。しかし、そのサッカーフィールド芝生が根付かず土のグラウンドとなつてしまつたことで近隣の市町村には、芝生のグラウンドがあるが、町には一箇所もない。そのため利用者の怪我も絶えない。リフォーム等の考えは、等の募集の考えは。
- A. 以前は、芝生のサッカーフィールドが補修をすると養生期間が必要であり、頻繁に使用したいため利用者より芝生の撤去の要望を受けた。また、今回の震災により、国・県より学校を避難所としての設備を整えるよう指導があった。当町の学校施設は、まだ耐震工事が済んでいない学校があり、国の補助金制度が平成27年度までである。補助金の残りは借金で補うことになるが、このような財政状況を踏まえ、サッカーフィールドの整備も進めたいが学校関係施設の耐震化が最優先であると考えている。

○防災対策について  
Q. 通信機の整備など、学校の防災機能を高めていかないと「いざ」という場合に対応ができるないと感じたが、当町の考えは。

A. 文部科学省は、今回の震災を受け、学校整備については「避難所としての必要な諸機能を備えておくべきである」との提言があり、国の財政支援を注視しながら検討していく。

○防災対策について  
Q. 通信機の整備など、学校の防災機能を高めていかないと「いざ」という場合に対応ができるないと感じたが、当町の考えは。

A. 文部科学省は、今回の震災を受け、学校整備については「避難所としての必要な諸機能を備えておくべきである」との提言があり、国の財政支援を注視しながら検討していく。

議席14番 斎藤 政雄 議員

